JANPIA
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金活用事業

2026年11月18日

Press Release
報道関係各位

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

社会課題解決の現場を訪ねるメディアツアー in 関西を開催
～外国人の医療支援、若者の就労支援、住まいと孤立の課題に向き合う3団体を訪問～

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）は、2026年12月11日（金）、報道関係者を対象に、休眠預金を活用して社会課題の解決に取り組む大阪府と奈良県の3団体を訪問するメディアツアーを開催します。

近年、外国人が直面する医療へのアクセスの難しさ、困難を抱える若者の社会的孤立、高齢者や生活困窮者の住まいの問題など、地域社会が抱える課題は多様化・複雑化しています。こうした課題に対応するためには、一人ひとりの状況に応じた支援とともに、地域の中で人と人をつなぎ、誰もが安心して暮らせる環境をつくることが重要です。

今回のメディアツアーでは、外国人への医療支援に取り組む特定非営利活動法人CHARM、困難を抱える若者の社会参加を支える一般社団法人SPSラボ若年認知症サポートセンターきずなや、住まいの確保や地域での孤立防止に取り組む一般財団法人ヒューマンライツ協会の3団体を訪問します。

各団体の事業説明や活動現場の視察を通じて、地域が抱える課題や、休眠預金を活用した取り組みによって生まれた変化、支援の現場で見えてきた課題などを紹介します。

■開催概要

日　時　：　2026年12月11日（金）9:45～17:45（予定）
開催場所：　大阪府・奈良県の休眠預金活用事業を実施中の団体3か所
集　合　：　9:45 梅田駅周辺のTKP会議室（詳細は別途ご案内）
解　散　：　17:45 JR新大阪駅（予定）
対　象　：　報道関係者
参 加 費 ：　無料（集合場所までの往復交通費は各自負担）
※昼食（お弁当）をご希望の方は、当日1,000円を現金でお支払いいただきます。領収書が必要な場合は、申込フォームにてお知らせください。
参加方法：全行程のほか、一部の訪問先のみの参加も可能です。
参加申込：　以下の申込フォームよりお申し込みください。
【申込フォーム】 https://forms.cloud.microsoft/r/UPA7M7h2X7

■プログラム（予定）

時間	内容
～10:00	梅田駅周辺の会議室 集合
10:00～11:30	CHARM 事業説明・質疑応答

11:30～12:30	貸切バスで移動
12:30～14:30	きずなや 昼食・事業説明・活動現場視察
14:30～15:30	貸切バスで移動
15:30～17:00	ヒューマンライツ協会 事業説明・活動現場視察
17:00～17:45	貸切バスで移動、JR新大阪駅にて解散

※プログラムは変更となる場合があります。
※移動時間は現時点の予定です。
※取材・撮影については、各団体の活動状況や支援対象者のプライバシー等に配慮するため、注意事項を当日ご案内します。

■訪問団体・取り組み紹介

① 特定非営利活動法人CHARM（大阪府）

日本語でのコミュニケーションに困難を抱える外国人が、必要な保健・医療・福祉サービスを利用できるよう、外国人コミュニティと保健所、医療機関をつなぐ仕組みづくりに取り組んでいます。外国人のヘルス・ケアワーカーの養成や、HIV・性感染症検査の多言語対応、医療機関での支援体制の整備などを進めています。当日は、外国人が医療を受ける際の課題や、関係機関との連携について紹介します。

② 一般社団法人SPSラボ若年認知症サポートセンターきずなや（奈良県）

若年認知症当事者や就労に困難を抱える人々の社会参画を支援するため、農福連携を活用した地域づくりに取り組んでいます。地域の多様な団体が連携して農産物の加工・販売を行う共通基盤を整備することで、就労困難者の就労機会の創出と地域コミュニティの持続的な発展を目指しています。農林水産省ノウフク・アワード2026チャレンジ賞受賞。当日は、活動現場の視察を通じて、若者の社会参加を支える取り組みや、地域の中で人と人とのつながりを生み出す活動について紹介します。

③ 一般財団法人ヒューマンライツ協会（大阪府）

大阪市西成区を拠点に、住まいの確保が難しい人への居住支援や、市営住宅に暮らす高齢者の孤立防止、住民同士の支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。また、若者の居場所づくりや地域の支援団体との連携を通じて、住まいと暮らしを支える仕組みづくりを進めています。当日は、住まいや孤立をめぐる地域の課題と、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けた取り組みを紹介します。

■参加申込

報道関係者で参加をご希望の方は、以下の申込フォームよりお申し込みください。
【申込フォーム】https://forms.cloud.microsoft/r/UPA7M7h2X7
【申込締切】2026年12月8日（火）17時

※参加人数に限りがあるため、お申し込み多数の場合は調整させていただく場合があります。

■休眠預金等活用制度について

2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間活動の促進のために活用する制度です。

2016年12月に休眠預金等活用法が議員立法で成立し、2019年度から助成事業が開始。2023年6月に同法が改正されたことにより、2024年より活動支援団体や出資事業など新たな支援制度が開始しました。

・休眠預金等活用制度　https://www.kyuplat.com/kyumin/details/

■　一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）について

2018年7月に経団連が主導して設立されました。経済界をはじめ、民間公益セクター、労働界、アカデミアなどオールジャパンで休眠預金等活用制度を支え、発展させ、SDGsの理念である「誰一人取り残さない持続可能な社会づくり」に貢献することを目指しています。

・JANPIA概要　https://www.janpia.or.jp/about/outline.html

・団体の活動を伝える「休眠預金活用プラットフォーム・メディアチャネル」 https://www.kyuplat.com/media-channel/

〈本件に関する報道関係からのお問合せ〉
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
企画広報部
TEL：03-5511-2026
Mail：press@janpia.or.jp